

令和2年度 長崎県公共事業評価監視委員会

詳細審議 再評価対象事業

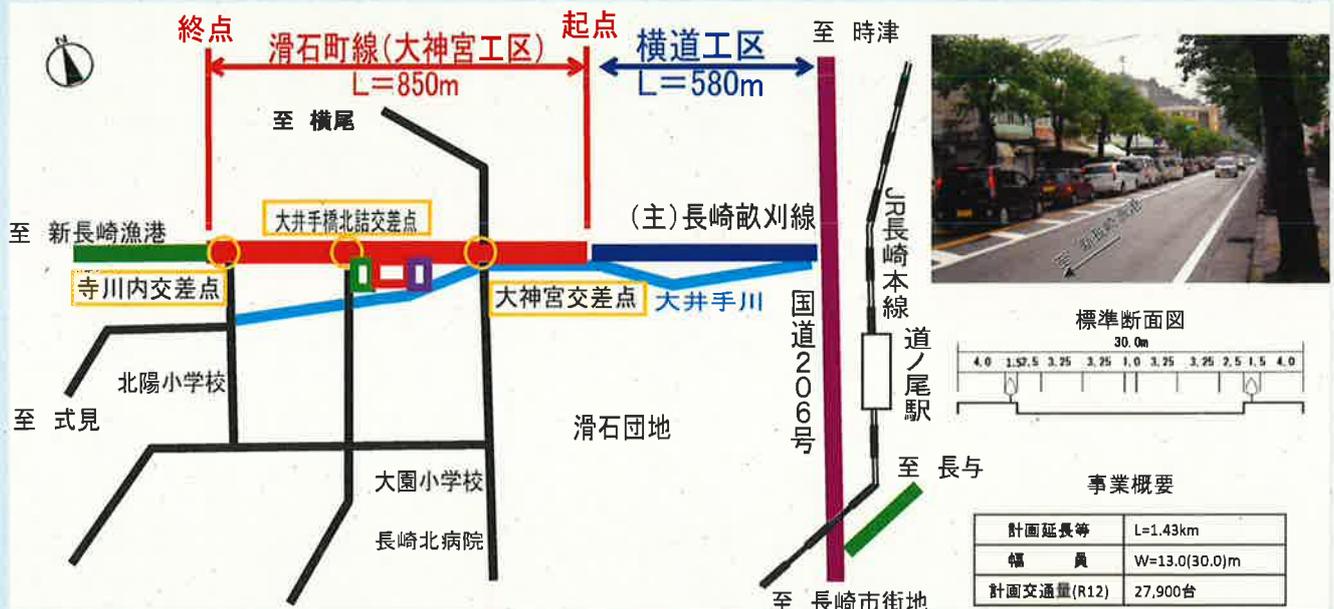
道建-10 街路事業 都市計画道路 滑石町線（大神宮工区）

長崎県

1

事業概要図

事業目的：沿線に長崎市最大の住宅団地が位置するほか、郊外では新長崎漁港周辺で宅地開発が進み、当路線の渋滞が著しくなっていることから、交通環境の改善を図る。



2

詳細説明（１）

【事業費の見直し】 60億円(前回)→67億円(今回)

事業費増の内容	増額	主な増額理由
大型補償物件	約6.0億円	電話基地局等の大型移転補償費の精査による増工
その他	約1.0億円	労務費や資材・機材の単価上昇
計	約7.0億円	

① 大型物件の移転補償費の精査による増額(約6億円)

当初は、切取改造を想定していたが、詳細調査の結果、機器の配置関係などから切取改造ができないことが判明したため、事業費が増額となった。

② 労務費や資材機材の単価上昇による増額(約1億円)

3

詳細説明（２）

【完了工期】 R1(前回)→R6(今回)



滑石支所



電話基地局



十八銀行(移転済)

隣接地(十八銀行)残地を活用して、電話基地局を再築することとなったが、隣接地の建物の移転調整(滑石支所との合築による移転から単独による移転に変更となった)に不測の日数を要した。

4

詳細説明 (3)

【補足説明:費用対効果について】

評価時	前回評価(H22年度)			今回評価(R2年度)			分析基礎の 要因と変化	
事業期間	H23~H31			H23~R6				
全体事業	総便益B 約182億円	走行時間短縮便益	152億円	総便益B 約176億円	走行時間短縮便益	151億円	【プラス要因】なし 【マイナス要因】・事業期間の延長 ・費用便益分析マニュアルの改訂(H30.2)	
		走行経費減少便益	24.5億円		走行経費減少便益	23.4億円		
		交通事故減少便益	5.5億円		交通事故減少便益	2億円		
	総費用C 約107億	事業費	107億円	総費用C 約154億	事業費	153.5億円		【プラス要因】なし 【マイナス要因】・事業費の増
		維持管理費	0.27億円		維持管理費	0.37億円		
	B/C	182.0億	=	1.7	B/C	176.4億		=
107.2億				153.8億				

5

今後の予定

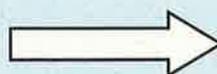
【完了工期】R6年度完了予定

【今後の事業見通し】

	R1迄	R2	R3	R4	R5	R6
用地補償		NTT基地局移転				
工事①(起点~大神宮交差点)						
工事②(大神宮交差点~大井手橋北詰交差点)						
工事③(大井手橋北詰交差点~寺川内交差点)						



対応方針
(原案)



継続

6